

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立騎西特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている。地域での学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、「自立する児童生徒を育てる」という学校の方針を掲げた明瞭な学校像が設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の現状を踏まえて、取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。目指す学校像を踏まえ、学校に取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて学部・分掌・委員会のシートが作成され、重点目標達成のための取組が進められている。学校全体の目標を踏まえ、学部・分掌・委員会で策定する方策等を学校評価運営委員会を通して整理するなど、重点目標の達成に向けた運営上の工夫ができると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状の課題に基づき、「スクリーニング表」の作成とその活用など評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。学部・分掌・委員会のシートを、学校全体の目標と連鎖させて、更に効果的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題を析出し、明確な学校経営の方針を持ち、状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、教職員の自発性を高めながら課題の解決を進めようとしている。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	評価項目の達成状況を検証し、次年度への課題と改善策を示している。アンケートや学校関係者の意見などを考察し、その結果を評価・反省に生かして、次年度の具体的な取組につなげるように工夫されている。	
特記事項			